

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事業名 精神医療審査会報告書作成事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内4806)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,544 千円 (前年度予算額：8,649 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,649	0	0	0	0	0	0	0	8,649
要求額	8,544	0	0	0	0	0	0	0	8,544
決定額	8,544	0	0	0	0	0	0	0	8,544

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

精神科病院の管理者は、精神保健福祉法に規定する措置入院及び医療保護入院による患者については入院届（医療保護入院）及び定期病状報告書（措置入院・医療保護入院）を岐阜県知事に提出することが法第33条第7項と38条の2第1項にて義務付けられており、県はその入院が適正に行われているか審査する。

(2) 事業内容

医療保護入院及び措置入院患者の人権及びその適正な医療の保護のため、該当する患者の病状等について、専門的な審査を行う精神医療審査会への報告書を精神科病院等に定期的に作成・報告してもらい、その費用を支払う。

(3) 県負担・補助率の考え方
全額県負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	8,544	医療保護入院者の入院届 措置入院患者の定期病状報告 医療保護入院者の定期病状報告
合計	8,544	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

各精神科病院において、県に提出する入院届や定期病状報告書の作成を適正に行っていくことにより精神医療審査会の適切な審査実施を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

各精神科病院において、入院届や定期病状報告書を作成してもらう事業であり、指標を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>医療保護入院の入院届は17病院、措置入院の定期病状報告は3病院、医療保護入院の定期病状報告は15病院で作成され、件数に応じて審査会報告書作成料を支払った。</p> <p>令和2年度は医療保護入院の入院届は2,355件、措置入院の定期病状報告は7件、医療保護入院の定期病状報告は1,109件作成された。</p>
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	医療保護入院等の患者の人権擁護の立場からも、その入院は厳に適正な医学的判断のもと適用されなければならないことから、精神医療審査会における審査は大変重要である。そのため、各精神科病院等にはその審査に欠くことのできない各報告書の適切な作成及び報告を求めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	各精神科病院において作成される入院届や定期病状報告書は適正に作成されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	各病院から提出される入院届や定期病状報告書はしっかりと作成していることから適正な審査が行われてきている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も患者の入院の妥当性について適正に審査を行っていくためには、しっかりと記載されている入院届や定期病状報告書は不可欠であるため継続すべき事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】